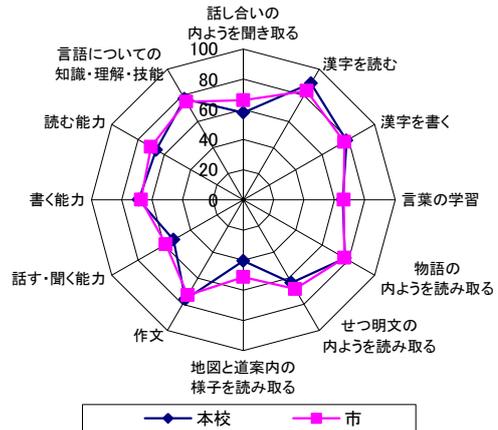


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの囚ようを聞き取る	57.9	66.1
	漢字を読む	89.3	83.5
	漢字を書く	78.6	76.9
	言葉の学習	65.5	66.2
	物語の囚ようを読み取る	77.4	77.0
	せつ明文の囚ようを読み取る	63.5	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	40.5	51.2
	作文	76.2	73.1
観点別	話す・聞く能力	53.0	58.9
	書く能力	68.8	67.2
	読む能力	66.1	70.2
	言語についての知識・理解・技能	77.3	75.1



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	平均正答率は、57.9%と市の平均より低い。特に話し方の工夫の共通点を見つけることにおいて、正答率が低い。	普段から、相手や目的を明確に意識しながら、話を聞くように意識付けを図る。聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問するよう支援する。
漢字	読む問題・書く問題共に平均正答率が市の平均より高いが、書く問題では、第3学年配当漢字の正答率が低い傾向にある。	漢字テストを繰り返し行い、知識の定着を図る。文章の中で習った漢字を使えるよう、支援していく。家庭学習でも、漢字の反復練習を行い知識を定着させる。
言葉の学習	平均正答率は、65.5%と市の平均よりやや低い。文の構成や漢字のいろいろな読み方については、理解しているが、漢字辞典の使い方についての正答率が低い。	普段から漢字辞典を活用し、漢字の学習を行うようにする。教科書で基本事項を確認した後、多くの練習問題を行い、知識の定着を図る。
物語の内ようを読み取る	平均正答率は、77.4%と市の平均よりやや高い。登場人物の気持ちの変化の読み取りがよくできている。	読書活動の中で、多くの物語文に触れるようにする。授業の中では、場面の移り変わりを丁寧に読み取る学習を継続して行う。問題に慣れるため、練習問題も利用する。
せつ明文の内ようを読み取る	平均正答率は、63.5%と市の平均よりやや低い。段落の要点に注意して読み取ることの正答率が低い。	授業の中で、文脈に即して内容が理解できるよう、丁寧に読解指導を行う。また、段落の役割について考えながら、文章を読む学習も行い多くの練習問題に取り組んでいく。
地図と道案内の様子を読み取る	平均正答率は、40.5%と市の平均より低い。地図を読み取ったうえで、適切な言葉づかいで話すことは、市の平均よりやや高いが、地図を読み取ったうえで考えることについて理解度が低い。	教科書の復習を行い、地図を読み取ったうえで、考えることの練習を行う。朝のスピーチや授業において、適切な言葉づかいで筋道を立てて話すことができるよう支援していく。
作文	平均正答率は、76.2%と市の平均よりやや高い。指定された長さで文章を書くことがよくできている。書こうとするものの中心を明確にすることについては、市の平均よりやや低い。	実際に文章を書く機会を多くもち、文章を書き慣れるようにする。その中で、言語知識や漢字を適切に使うことができるよう指導していく。